

しおじり

平成24年7月15日

No. 182

6月定例会号

市議会だより



市内の文化財「県史跡 釜井庵」(洗馬)

発行 塩尻市議会

〒399-0786

長野県塩尻市大門七番町3番3号

電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

Eメール gikai@po.city.shiojiri.nagano.jp

編集 塩尻市議会基本条例推進委員会
広報部会

もくじ

6月定例会トピックス ほか	2
委員会の焦点	3
一般質問の要旨	4~9
議会報告会報告書	10~13
平成23年度政務調査費支出内容	14
提出された議案及び議決結果	15
市民の声・議会あれこれ ほか	16

議会トピックス

▼議長不信任決議案は否決

▼継続審査となっていた監査委員条例改正案、スケートボード練習場の設置を求める請願は再び継続審査

▼市民からの請願1件、陳情1件について採択し、意見書を政府及び関係機関に提出

6月定例会

5月31日
～
6月19日

6月定例会概要

6月定例会では、条例案件5件、人事案件3件などを含む市長提出議案35件と、市民等からの請願1件・陳情1件、議員提出議案3件について審査を行いました。また、3月定例会から継続審査となっていた市長提出議案1件、市民からの請願1件についても審

塩尻市監査委員条例の一部を 改正する条例は、再び継続審査

常勤の監査委員を置くことができるとする「塩尻市監査委員条例の一部を改正する条例」は、3月定例会で継続審査となり、この6月定例会で再び審査されました。

審査を担当した総務環境委員会では、「十分な調査研究を行い結論を出すべきだ」「なお慎重な判断が必要である」との理由から、継続審査とすべきものと決しました。

議会最終日の本会議では、継続審査とすべきとした総務環境委員長の報告に対し、「今定例会で可決か否決かはつきりさせるべき」との意見

査を行い、今定例会でも継続審査とすることと決しました。6月定例会最終日には、議長に対する不信任決議案が4人の議員から提出されましたが、「不信任の理由が不明確」「不信任に値する事実はない」との意見があり、採決の結果、賛成少数で否決されました。

があり、採決を行いました。なお継続審査すべきとの意見が多数を占め、採決の結果、継続審査と決定しました。



本会議での採決のようす

主な議案

○議案第1号 塩尻市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例

下水道使用料の賦課徴収漏れにより、市民へ不快感を抱かせたことに関し、指揮監督者の責任に対する処分を行うため、市長及び副市長に支給する給料の月額を減額することに伴い、必要な改正をするもの。

○議案第4号 塩尻市児童館条例の一部を改正する条例

塩尻市立片丘児童館を設置することに伴い、その名称及び位置を定めるため、必要な改正をするもの。

○議案第5号 教育委員会委員の任命について

委員5人のうち、1人が平成24年6月26日に任期満了となることに伴い、後任委員を任命することについて、議会の同意を求めるもの。

○議案第8号 中央本線みどり湖駅構内第1上西条こ線橋外3橋補修及び耐震補強工事委託に関する施行協定の締結について

中央本線みどり湖駅構内第1上西条こ線橋外3橋補修及び耐震補強工事の契約を締結することについて議会の議決



みどり湖駅構内こ線橋

を求めるもの。

○議案第10号 平成24年度塩尻市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出ともに3千107万9千円を増額し、予算総額を25億9千948万6千円とするもの。歳出の主なものは、冬季凍結による市道の舗装破損を補修するため、補修用資材及び市道新設改良工事費を増額するものなど。また、教育長の退職手当を補正するもの。

○議会第1号 住民の安全・安心を支える公務・公共サービス体制・機能の充実を求める意見書

提出先・・・内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣、総務大臣、財務大臣

○議会第2号 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書

提出先・・・内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

委員会の焦点

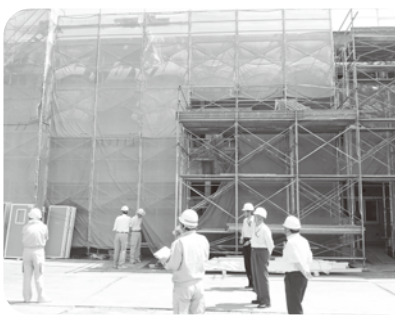
～委員会審査報告から～

みどり湖駅こ線橋補修と市道路線認定 経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、事件案件2件、予算案件1件で、慎重審査の結果いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

事件案件では、みどり湖駅構内こ線橋外3橋補修及び耐震補強工事委託に関する施行協定の締結について、JR東日本長野支社と随意契約するものです。工事は営業路線であり、深夜から翌朝までの施工となるため、工事の騒音などについて周辺住民へ周知徹底を十分に行い理解を得るよう要望しました。

平成24年度塩尻市一般会計補正予算第2号では、厳冬で多発した凍み上がった道路を補修するため、通常予算で対応できない分の補正予算を認めました。この補正対応で、道路アセットマネジメントの前倒し施工ができるため、全体のバランスを見て、舗装改良を行っていききたいと答弁があり、これを了承しました。



現在建設中の渋沢団地を視察

広陵中学 大規模改修決定 福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された、平成24年度一般会計補正予算など7件の議案について、慎重審査の結果、原案のとおり可決及び同意し、請願は3月議会ですら継続審査となりました1件と合わせ2件について、慎重審査の結果、「義務教育費国庫負担



国指定重要文化財 小野家を視察

制度」の堅持に関する請願については意見書を政府及び関係行政庁に提出するものと決しました。

広陵中学校大規模改修工事請負契約の締結につきまして、予定価格に対する落札率について質問し、99・08%であると答弁がありました。また、工事費と管理委託料を合わせた2億7千万円の財源を

質問し、1億8千万円余は特定財源で、9千300万円余は一般財源と答弁がありました。また、増築2教室の構造耐震指標は、0.72であり安全であると説明を受けました。

委員会終了後、市内に今年度開園した民間保育園2園と来年度完成予定の国指定重要文化財小野家を視察しました。

監査委員条例は 再度継続審査に 総務環境委員会

当委員会に付託された議案は、条例案件3件など計5件で慎重審査の結果、継続審査すべきものとした1件を除き、原案どおり可決・同意すべきものと決しました。

条例案件のうち、特別職の給与に関する条例については、下水道使用料の賦課徴収漏れについて監督者の責任に対する処分であり、市長及び副市長の給与を減額するものです。今後はダブルチェックの徹底など再発防止に努めるとの説明がありました。

3月定例会で継続審査となっていた塩尻市監査委員条例の一部を改正する条例については、常勤監査委員の必要



郷原の災害用仮設給水栓

性・妥当性について、引き続き調査研究をするため、継続審査とすべきとの意見が多数を占め、継続審査となりました。

委員会終了後は市内視察を行いました。災害への対応として郷原配水池を、また洗馬に新しく開設された高齢者介護施設と東山霊園の拡張工事を視察しました。

市政を問う!!

質問者

柴田 博

古畑 秀夫

丸山 寿子

山口 恵子

中村 努

鈴木 明子

宮田 伸子

牧野 直樹

青柳 充茂

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

災害に強い塩尻市をつくる

◆ハザードマップ公表

問 危険度に応じ、対策を重点化すべきだ。(中村)

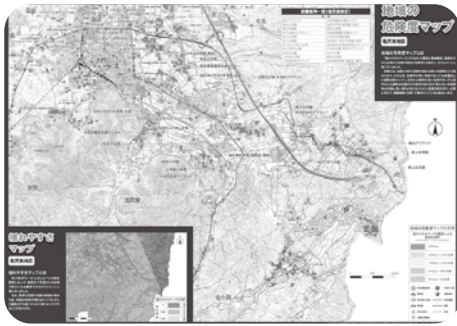
答 地震や土砂災害で危険地域が違うので、重点化する。

問 区設置の防災倉庫備品への補助や簡易型震度計設置の考えはないか。(中村)

答 地域防災計画見直しの中で検討したい。

問 避難施設や民生委員と地区住民の連携強化のため、地区防災会議の設置に主導的な役割を。(中村)

答 地区ごとに状況が違うので、区長と内容を研究する。



全戸配布されたハザードマップ



老朽化が進む橋

◆公共施設長寿命化について

問 公明党は防災減災と経済対策を合わせた防災減災ニューディールを提案している。老朽化している社会資本に予防対策を集中させるものだが、本市の公共施設老朽化度合いの棚卸しはどうか。(中村)

答 ファシリティーマネジメントという市有財産の長期的な適正管理と効率的運用を図る基本方針を進めており、その中で棚卸しと仕分けを行っていく。

◆小坂田公園道の駅の整備

問 地理的に優れヘリも活用できる。大規模災害時の支援物資配送基地、救援隊の拠点として整備するよう国に求めたいかがが。(宮田)

答 要請していく。

◆災害対策について

問 ハザードマップに掲載されている屋内避難施設はいつでも利用できるような状態に

あることが最低限必要と考えるが、そのようになっていくと考えるとよい。(柴田)

答 詰めが必要な部分もあるので関係者と進めていきたい。

◆防災減災対策

問 防災計画見直しにあたり女性の視点は重要。女性の登用は何人位か。(山口)

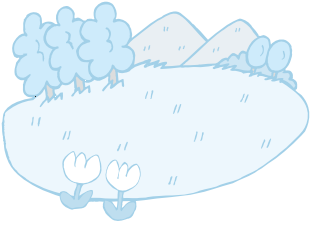
答 看護師協会、薬剤師会、障害者団体連絡会、ボランティア連絡協議会などの代表4人を考えている。

問 避難所運営は重要。体験型図上訓練(HUG)を実施する考えは。(山口)

答 災害時には避難所を開設し、避難者を収容するなど様々な条件について瞬時に判断する必要があり、臨場感のある実践的な訓練で有効と考える。今後防災訓練等に取り入れていきたい。



小坂田公園道の駅



自然を生かしたエネルギー政策を

自然 エネルギーの 普及を

◆再生可能エネルギーの地産地消に塩尻戦略を

問 自立と創造の田園都市を目指す塩尻市は、食料とともにエネルギーの自給率向上を目指す取り組みが必要。山や農地など緑が多い塩尻には、生ごみも含め、バイオマス系への集中投資が合っている。いずれにしても具体化するためには、研究から実践まで一貫した体制づくりが不可欠。ライフワークとして取り組むくらい意欲のある若手リーダーを庁内公募の上、メンバーを厳選してプロジェクトチームを立ち上げたらどうか。

(青柳)



安全な市の水道水

答 循環型地域社会の形成、エネルギーの地産地消や継続性などの視点を含め、新エネルギーや省エネについての調査研究に取り組みたい。

◆稼働ゼロから原発ゼロに

問 現在、国内全ての原発が停止し「稼働ゼロ」が続いている。福島第一原発は深刻な状況が続いており、大飯原発の再稼働が問題になっている。今こそ「原発ゼロ」の実現が求められていると考えるが市長の考えはどうか。(柴田)

答 福島の事故により安全性が完全に失われた以上、少なくとも独立性と信頼性を併せ持つ専門的機関が安全性の評価について責任を持って行わなければ、再稼働への理解は厳しいと考える。

◆東京電力への賠償請求は
問 上下水道の放射性物質測

定費用などを東京電力へ賠償請求しているか。(古畑)

答 今回の賠償請求の対象期間は昨年の3月11日から11月末までで、上下水道事業、合わせて93万円余を請求した。

◆防犯灯のLED化を

問 地区にある防犯灯のLED化を市としても進めているか。(古畑)

答 LEDへの改修工事に市では補助対象としているが区等の負担も一部ある。順次、進めていただくとように区等へお願いしている。



LED化が進む防犯灯

快適な 道路環境を

◆都市計画税と都市計画施設の整備について

問 都市計画税の使い道について。(牧野)

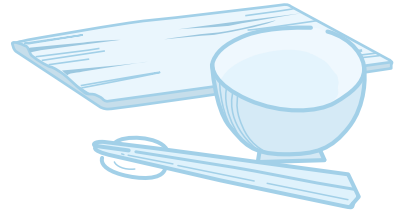
答 22年度決算では、3億8千万円、その使い道のほとんどが公共下水道などの過去に実施した償還に当てられている。22年度の都市計画税が充当された都市計画事業費を見ると、総額が7億5千万円のうち、6億4千万円が市街地再開発事業に充てられ、残り1億1千万円が都市計画道路事業に充てられている。

問 割合を見ても特に広丘方面の都市計画道路などの事業費が低く、今後は、重点的に整備すべきと思うが。(牧野)

答 今後の都市計画道路の整備については、財政計画と整合を図る中で、住民要望が強く、高い事業効果が見込まれる箇所に集中して投資を行い、計画的な道路整備に努めたい。



整備を進めている広丘西通線



◆153号線整備促進の取り組み
 問 幹線道路であり、生活道路でもある153号線について整備要望が出ているが取り組みの状況はどうか。(鈴木)

答 高出交差点から金井交差点間は21、22年度排水性舗装による全面改修が行われた。歩行者対策では歩行スペースの確保等関係機関への要望を継続し、調整を図っていく。

◆四沢川縁並橋から善知鳥峠については地元関係者等と検討しており、今後、道路管理者との協議、検討を行っていく。

◆通学路の安全対策を

問 通学時の事故状況はどうか。交通ルールを守っているにもかかわらず事故の危険性は高い状況である。子どもも保護者も不安・心配をかかえている。対策は。(山口)

答 横断中の事故が最も多い。



通学中の小学生

通学路の整備に関しては、学校、PTA、地区との連携協力を図る中で地区要望としての統一化をお願いしている。

観光地の整備促進を

◆漆サミットでの取り組み

問 本市で10月に開催されるジャパン(漆)サミットでの来場者への塩尻の宣伝と、市民向け参加内容は。(丸山)

答 10月をサミット月間とし、漆器を使った展示や市民向け講座を開催する。全国からの関係者が塩尻の特産や観光地を体験する企画を予定し、今後実行委員会でご話していく。



市特産の木曾漆器

◆魅力ある観光をつくる
 問 観光資源であるみどり湖



周辺の整備が求められるみどり湖

周辺の整備や維持管理は行政だけでは無理。地区住民のご協力を得ては。(宮田)

答 地元と協議しながら官民協働の維持管理を研究する。

問 案内看板の傷みがひどい。設置だけで終わらず、継続的な管理が必要では。(宮田)

答 台帳にしておらず、維持管理のため早急に検討する。

問 策定から6年が経過した塩尻市観光振興ビジョンの進捗を検証すべき。(宮田)

答 現状と課題を検証し、今後の事業展開に反映する。

◆観光協会について

問 観光課長が協会の専務理事を兼務するのは問題ではないか。法人格を取得し、独立する方が良いのでは。(宮田)

答 資金・人的面で余裕があれば望ましいが、当面無理。有識者と研究する。

地域経済の活性化を

◆住宅リフォーム補助事業
 継続を

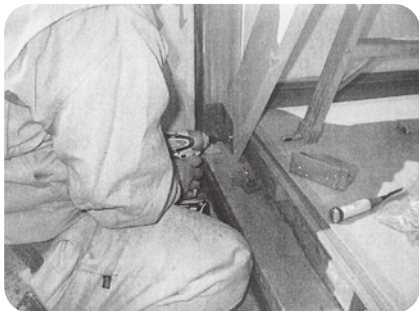
問 市民や地元業者からは補正予算で対応して欲しい、又来年度以降も事業継続を要望されているが。(古畑)

答 本年度の補正及び来年度の事業継続については制定時に期間を2年と定めているので今年度で終了する。

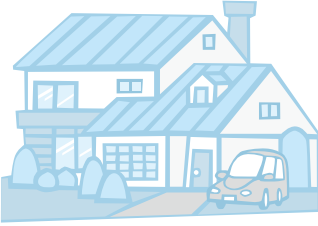
問 要望が多く、経済効果もあるので継続を要請する。(古畑)

◆リフォーム補助来年も

問 今年度の申請はわずか10日で予算額に達した。地域業者、市民要望の高い施策で地域への経済効果は10倍にも上



リフォーム中の住宅



補助率の上った電気柵

る。商工会議所、建設労働組合等からの強い要望があり生まれた施策でもある。補正対応、次年度以降の事業継続を行うべきと思うが。(鈴木)

答 2力年の緊急対策事業と定めたものであり、一旦は終了とするが、効果、要望などを精査し、改めて検討していく。

◆住宅地の供給促進について

問 人口増加を図るための住宅の供給対策は。(牧野)

答 都市計画道路高校北通線と広丘西通線の整備が行われた、大門七区と広丘郷原にまたがる開発誘導エリア内の一部地域を候補地として捉えている。

◆鳥獣被害対策の強化策は

問 本年度強化した有害鳥獣対策の内容は。(古畑)

答 農作物等災害対策事業費として約600万円増の1千600万



レザンホールの磁気ループ装置

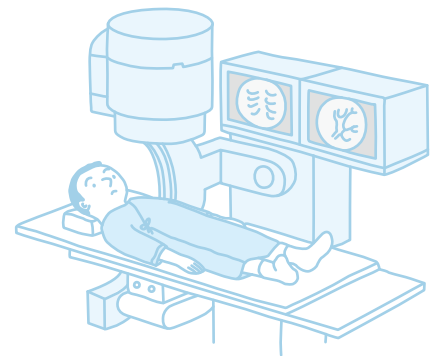
◆磁気ループの積極的活用を

問 補聴器を使用しても聞き取りにくいことが多い。窓口などへの設置や、常設されているレザンホールでの積極的活用を。(鈴木)

答 常設型は講演会等に有効と考えており、活用を図りたい。窓口での意思疎通でも有

市民の健康づくりを

円を計上、鳥獣パトロール員等を3人から4人に増員し、個体調整やサル等追い払い事業を強化した。さらに、電気柵や防護ネットの設置促進を支援するため、補助率を見直し、予算額の大幅な増額をした。



効と考え、研究していきたい。

◆がん予防、検診の充実を

問 死因の第一位はがんである。肺がんはCT検診が発見率が高く有効である。節目の方には無料とし受診率の向上を図る考えは。(山口)

答 胸部レントゲン検診後の再検査では無料で肺CT検診を実施している。

問 大腸がん検診無料クーポン制度があるが本市での実施の考えは。(山口)

答 県下19市中9市が実施している。受診の促進につながる効果的なので今後検討していきたい。

問 胃がんはピロリ菌が発がん因子と認定された。除菌で発生が1/3に減少するが、検診導入の考えは。(山口)

答 国において研究中。今後動向を踏まえ検討したい。



いきいき貯筋倶楽部

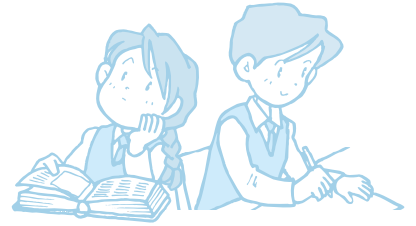
◆健康づくり施策の充実

問 平成22年度国保加入者一人あたり医療費の伸び率が県内19市中トップで対前年7.0%だが検証と対策は。(丸山)

答 昨年10月に分析した。高血圧や心疾患などの生活習慣病の原因が多くを占め、高齢期にかけて外来受診や入院につながっている。若い世代からの啓発や検診の受診勧奨等「第一次予防」に努めていく。

問 現行の健康づくり施策と介護予防施策を検証し、各地区での「高齢者元気づくり塾」に発展させ、市民サポーター活用の考えは。(丸山)

答 健康・スポーツ・福祉の分野で連携して、健康づくりではヘルシーフィットネス教室等を実施している。現在の市民協力者の動向も見据えた上で、介護予防事業の「いきい



「目分らしいエンディング」
支援

問 相続・遺言講座の実施状況はどうか。また、高度な医療の恩恵を受けつつも延命治療等で家族が判断に悩む現状を考慮し、リビング・ウィル（自然死＝尊厳死宣言書）講座導入の考えは。（丸山）

答 東日本大震災後に市民から希望が多数寄せられ中央公民館講座で司法書士を講師に開講し、20代から80代までの参加があった。リビング・ウィル講座については市民の希望を聞き検討していく。



エンディングノート



適正な使用が求められる情報ツール

よりよい 教育を 目指して

◆学校教育現場の真の問題を見誤るな

問 市内の中学校で教師が携帯電話を不適切使用した事案があったばかりだが、生徒が試験の解答を携帯電話のメールで教えてお金を取っているとの情報があった。携帯電話の扱いにルーズな学校環境を教師がつくってしまったのではないか。学校では携帯電話は原則使用禁止という基本の約束事を教師が自ら守らないでどうするのか。一見小さな事でも積み重なると学校全体の規律の崩壊、さらには犯罪にさえ繋がりかねない。学校長や



吉田原保育園

教育委員会が現場の真の問題に気がつかないのは怖いことだ。（青柳）

答 今回の事案を踏まえ、人権感覚や情報モラルの点で、日ごろの教育指導上の問題がなかったか自己評価を行い、職員研修を徹底していく。

◆吉田原保育園の改築は

問 吉田原保育園改築の計画はどこまで進んでいるか。定員や改築時期についての考えはどうか。（柴田）

答 定員や施設配置など施設整備のあり方を検討する概要設計を本年度中に行う。区内の入園児童数の推定や来年度の入園申込み児童数などから定員の検討を進めていく。

◆給付型奨学金について

問 OECD加盟国の内、授業料が無償でないうえに給付型奨学金が無いのは日本だけ

である。貧困と格差が広がり卒業後の不安が広がる中で、給付型奨学金の実現が待ったなしの課題となっているが制度創設の考えはないか。（柴田）

答 本市で給付型を導入するには、一般会計からの繰出しなど多額の財政負担が生じると共に、選考基準などの公平性を担保する仕組みなどの課題がある。国の動向を見ながら研究したい。





市監査委員事務局

常勤監査委員の必要性は

◆ 渋沢団地工事監査結果

問 代表監査委員の感想はどうか。(中村)

答 2期8年の間で、他の工事監査現場と比較し、かなり劣っていると感じた。

◆ 監査委員人事と常勤監査委員

問 本定例会に議案が提出されないのは、常勤が非常勤で人選が変わるのか。(中村)

答 対象者は自ずと変わる。

問 事務局体制の増員の考えはないか。(中村)

答 厳しい定数管理の中なので増やしたくてもできない。

問 監査機能の強化が条例改正の理由であるが、職員の監査に対する意識変革、内部評

価のできる組織、事務局体制など総合的に高めなければ、常勤の監査委員のみでは、機能強化にならない。(中村)

財政

健全化の維持を

◆ 黒字決算の見通し

問 平成23年度一般会計の決算見込みは。(古畑)

答 5億2千万円以上が黒字となる見込みである。

問 財政調整基金へ積み立てると調整基金の総額はいくらになるか。また、市の基金の総額はいくらか。(古畑)

答 財政調整基金の総額は約25億円、市の基金の総額は約50億円となる予定である。

◆ 補助金のあり方

問 市民等を委員とする検討



市営住宅の安定した管理を

委員会を設置し、交付基準を定めてはどうか。(宮田)

答 研究する。

問 国はシルバー人材センターの補助金を減額したが、市がしなかった訳は。(宮田)

答 業務運営に支障があると判断した。補助金減額を見据えて指導しており、来年度以降段階的な減額等検討する。

◆ 市政の最大の課題は財政より人事ではないか

問 人材が枯渇するような状況に陥っていないか。(青柳)

答 今後とも「人財」となるような職員の育成に努めたい。

市民の住環境を守る

問 ◆ 市営住宅の管理委託
市営住宅を一括して県の

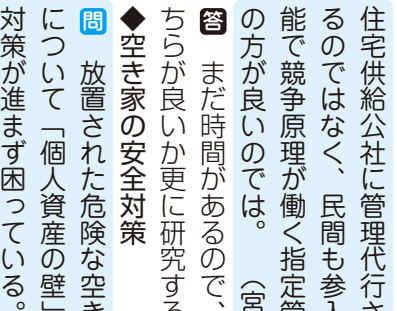
住宅供給公社に管理代行させるのではなく、民間も参入可能で競争原理が働く指定管理の方が良いのでは。(宮田)

答 まだ時間があるので、どちらが良いか更に研究する。

◆ 空き家の安全対策

問 放置された危険な空き家について「個人資産の壁」で対策が進まず困っている。条例化で踏み込んだ対策を行う自治体もあるが。(鈴木)

答 所有者の判明分については文書により適正管理を依頼しているが強制力がなく、連絡の取れないものもある。引き続き所有者による適正管理を求めていくこととともに条例について研究していく。



早急な空き家対策が望まれる

より開かれた議会を目指して

塩尻市議会

第2回議会報告会を開催しました

議会報告会の 報告を掲載します

4月20日、24日、25日の3日間にわたり、市内10地区の内、塩尻東、大門、榎川、片丘、吉田の5地区で第2回議会報告会を区長会のご協力をいただき開催しました。昨年開催した第1回議会報告会の課題等を検証し、本年は各地区へ出向き、地域の課題について議会として市民の声を聞く方針のもと、春5地区、秋5地区の市内全10地区で開催することを計画しました。

今回の報告会は約2時間のうち、平成24年度予算など各常任委員会審査報告の後、主に参加者のみなさんと意見交換を行いました。各会場とも市政全般、あるいは地域ごとの課題について様々な質問や意見をいただき、それに対し議員が行政側の立場ではなく、議会の視点でお答えしました。なお、紙面の都合上、ここでは内容の一部のみを掲載しました。意見交換会の詳細な内容については、塩尻市議会ホームページに掲載しましたのでご覧ください。

■ 第2回議会報告会担当表

日時	対象地区	場所	担当班	サポート班
4月20日(金) 午後7時～9時	塩尻東	塩尻東支所	1班	3班
4月24日(火) 午後1時30分～ 午後3時30分	大門	市民交流センター	1班	2班
// 午後7時～9時	榎川	榎川支所	2班	3班
4月25日(水) 午後7時～9時	片丘	片丘支所	2班	1班
// 午後7時～9時	吉田	吉田地区センター	3班	1班

- 班編成
- 1班 宮田伸子、横沢英一、金子勝寿、牧野直樹
 - 2班 鈴木明子、五味東條、青木博文、古畑秀夫、森川雄三、青柳充茂、中原巳年男
 - 3班 丸山寿子、中原輝明、西條富雄、務台 昭、山口恵子、永井泰仁、中村 努、柴田 博、塩原政治

塩尻東



塩尻東支所 (4月20日)

問 全国で空き家対策のため条例を施行している自治体があるが、本市でも深刻な状況になる前に対策が必要ではないか。**答** 空き家バンク制度を創設。空き家の有効活用をはかりたい。条例制定については所有者の管理など含め、課題はあるが必要があれば充分協議したい。**問** ごみ処理の広域化実施について、ゴミ袋は松本市より高いが市民の負担に対する考えは。**答** 塩尻市はゴミ有料化によりゴミ削減への意識の高さを感じている。塩尻市のゴミ袋による7千万円の収入はすべて市の収入となっている。**問** 松本市のゴミ焼却炉改修の見通しについてはどのようになっているのか。

負担金はどうに考えているのか。**答** 松本クリーンセンターの改修は現在計画は示されていない。また塩尻のクリーンセンターの解体費用は約2億円だが、新組合で行うことになっている。解体の時期は今後検討していく。広域共同処理により市負担分は今までより7千800万円ほど減額となる。**問** 広丘駅前に市の駐車場が整備予定だが、みどり湖駅周辺は遊休荒廃地が多い。それを有効利用し、東地区全体の活性化につながるよう駐車場をパーク＆ライドとして整備する考えはどうか。**答** パーク＆ライドの考え方はよいと思うが、農地法などクリアしなければならない。予算や需要がどの位なのか課題となるが、地域の皆さんからも市へ要望して欲しい。そのうえで議会として議論していきたい。**問** JRの側道南側の市道は中学生の通学路となっているが、153号のバイパスとなり車の通行量が多く危険である。防犯灯の設置を要望する。**答** 通学路に防犯灯は必要であるが経費がかかる。また農地なので照明の影響を考慮しながら、東地区全体の課題として検討していきたい。



大門



市民交流センター（4月24日）

問 3月議会で、修正や反対がなく全ての議案が全員一致で通った。議会制民主主義が機能しているのか。**答** 議案は常任委員会で審議され、過去に意見が割れたこともある。今回、常勤監査委員の条例が継続審査となったが、条例案件の継続審査は40年ぶりのこと。塩尻市議会は他市と比べて議論がされている方だと思ふ。

問 「熟議」を重ね、白熱した議論のできる議会にしてほしい。請願や陳情を「処理」するというのが、これは市民に対して失礼な言葉つかいではないか。また、「検討します」「研究する」という答弁の後どうなったのかフォローしてほしい。行政に対する監視機能をもっと発揮してもらいたい。**問** 選挙の投票時間を夜8時まで延長している割に投票率が低落傾向である。投票時間の見直しをすべきと思ふ。

答 夜8時までが浸透している中で、費用と効果の妥協点は今後よく見極めたい。**問** 平成24年度一般会計予算は252億円と前年から8億円の縮小予算なのに、経常経費は32億から38億円に増えている。一方、投資的経費は前年の40億円から19億円に減っているのはなぜか。**答** 24年度予算全体では大型の公共事業がなくなることが主な原因で減少となったが、扶助費は1億円増、国保会計への繰入は6億円と増加しており、来年度以降増加していくと思ふ。経常経費については総枠を5%カットするなど経費の節減に取り組んでいる。**問** 政務調査費については視察だけでなく、目的や塩尻市政にどう反映されたのかなど、より具体的な報告書で市民に知らせる工夫をしてほしい。市のホームページに公開するならそんなにお金もかけずにできるのではないか。**答** 議会基本条例推進委員会などで研究し実現していく。

榑川

問 鳥獣被害が多く、榑川地区ではサルが特に多い。抜本的な対策はないか。農地ばかりでなく、家まで来るので大声で追い払う状況であり、家族の安全なども心配である。**答** 新たに人を増やし、対策を取っているが、温暖化で数も増加している。予算も600万円増額して対応している。議員も重要課題ととらえ研修をし、対策を研究している。

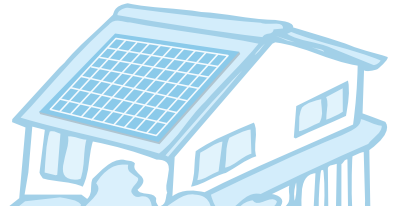
問 榑川地区官行造林の一部は地元へ返してもらったが、残り100ヘクタールは平成26〜28年頃に返していくとのことだが地元だけでは管理が難しい作業道もなく、今は価値が低い唐松がほとんどである。今後国からは買い取るようにと言われているが、地元の負担ができるだけ少なくなるよう市議会で検討し国へ対応して欲しい。**答** 地区で意見をまとめて行政・市議会へ意見を上げて欲しい。市議会としても研究していきたい。**問** ならい荘の公募の見直しについてはどうなっているのか。建物、特にトイレなど水回りが旧式で観光客も集まりにくい。改



榑川支所（4月24日）

修してからでないかと公募は無理ではないかと思ふがどうか。**答** 5月に民間からの応募があれば6月議会で提案される予定だが、現段階でははっきりしていない。**問** 地域が活性化するために支所に予算を付けて、地域住民が利用しやすいようにしてほしい。**答** 議会としても行政に対応を求めているが予算の使い方が課題となっている。今後さらに行政と検討していきたい。

問 医療費の伸びが高いが心配である。原因を調べて欲しい。**答** 議員も心配している。今後の対策のためにも、しっかり対応していきたい。重要な課題なので市民にも情報をしっかりお伝えしたい。



片丘



片丘支所 (4月25日)

問 有害鳥獣被害対策について、松本市はシカ対策に防護柵を市境まで設置したので、片丘地区の畑にシカが来てしまう心配はある。推定600頭あり、駆除は簡単にできないが対策は。 **答** 防護柵の設置は議会からも要望が出たが、コストがかかるなどの理由で市は個体調整の方針である。狩猟担当を3人から4人体制に増員し連絡を受けてすぐに駆除へ出向く体制を取り、また、免許取得補助や駆除の報奨金を増額した。議会も影響や効果について検証していく。 **問** 片丘小学校の空き教室を利用しての児童クラブ・児童館設置の推進状況は。 **答** 今年度の予算で、1千700万円認められている。

る。全国的に3分の1程度が空き教室に児童館を設置しているとの説明があった。夏休み中に工事をし、トイレを新たに設置してセキュリティを確保する。職員は2名から3名に4月から増員している。教育委員会が今後、地元協力者の公募チラシを作成予定であり、地域の支援もお願いしたい。 **問** 介護予防教室が開かれていてもあまり参加意欲が出ない。個人経営のジムは一月月の会費が高いが、補助金を出すなどお仕着せでない健康づくりの内容を考えてほしい。 **答** 介護保険も値上がりしている。市民がいつまでも元気でありたいように、議会としても行政へ提案していく。 **問** えんぴく3階の音楽室の音漏れがひどい。もう少し防音できないか。 **答** 若い世代からの希望で音楽室を作った。バンドの練習で漏れる音が予想以上だったと聞く。若い世代の中には気にならないという声もあるが、防音や周辺の使い方についての検討を担当者に伝える。

吉田



吉田地区センター (4月25日)

問 郷原街道は交通量が多く危険で、歩道の形状や幅員に問題がある。 **答** 危険な県道であり、PTAからも再三安全対策が要望されている。応急的な修理はしているが改良を要望する。西幹線整備の促進を求めていく。 **問** 防災倉庫の備蓄品の拡充が必要だが、各区の備品拡充には補助がない。区任せでなく市が主体的に取り組むべきでは。 **答** 市設置のものは備品チェックをしている。区が設置したものは、議会としてまだ議論はされていないので、行政が絡んだ対策を研究する。 **問** 高齢者世帯の災害対応を民生委員だけでなく、全体に分かるようにしなければ対策が取れない。 **答** 個人情報関係で困難な状況を承知している。改善に向け、議会としても取り組んでいく。 **問** 学校・地域での防災教育をどのように考えているか。 **答** 子ども達の教育は大事で、釜石の教育に学ぶべきと議会でも話が出ている。共助としては、ご近所支え合いマップを考えている。 **問** 市内の電力需給と節電の取り組みはどう

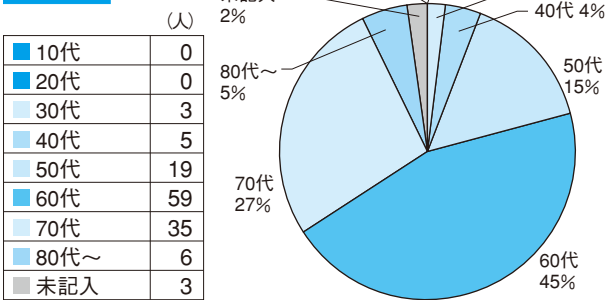
か。 **答** 市役所ではクールビズ等で昨年15%の節電をした。電力需給について中電の見通しに関心を持っている。5%強の余力があると聞いている。万全の対策を組んでいかなければいけない。片丘のSNR跡地への太陽光発電も話だけで進んでいない。議会としても研究したい。 **問** ハザードマップは、ただ出すだけでは意味がない。市の防災倉庫や地震計の増設等、危険な地域には他よりも手厚くしてほしい。地域の連絡会の設置もモデルケースを吉田地区に設けるよう働きかけて欲しい。地域のみ期待されてもできない。ハザードマップは、具体的な防災計画で生かしてほしい。 **答** 必要なところに必要な対策を、議会としても市や区長と話し合わなければならぬ。お力添えをお願いしたい。

その他意見

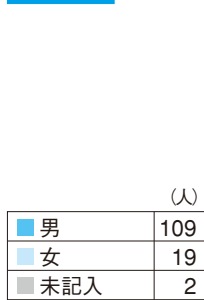
- ・みどり湖パークキング駐車場の今後の整備
- ・みどり湖周辺の景観整備と観光促進
- ・枚敷区の田川河川敷の農業用取水口周辺整備
- ・国道153号線雨水対策（上西条、金井地区）
- ・柿沢苗圃跡地周辺整備
- ・高出地区の歩道と公園の設置
- ・大門七番町の市道の整備
- ・奈良井宿、道の駅駐車場の誘導看板の設置
- ・上町、権兵衛駐車場の車イスの雨よけの設置
- ・新沢沢団地周辺道路の街灯整備
- ・南熊井区県道の拡幅
- ・君石団地から丘中学校への通学路の安全確保
- ・少子高齢化についての市全体のビジョン
- ・ラジオによる塩尻市のCMの見直し
- ・片丘小学校校庭の照明灯照度の改善
- ・片丘地区内の農道の整備
- ・えびの子水苑から八十二銀行広丘支店までの街灯の設置
- ・防災についての市議会の取り組み

アンケート結果 (回収率80・2%)

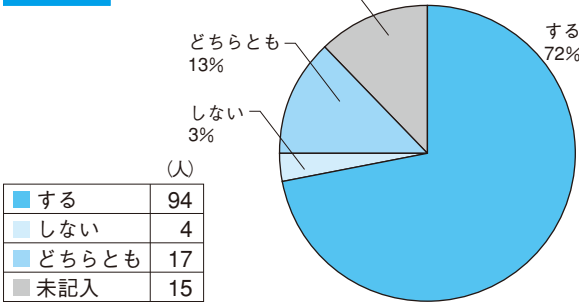
年齢



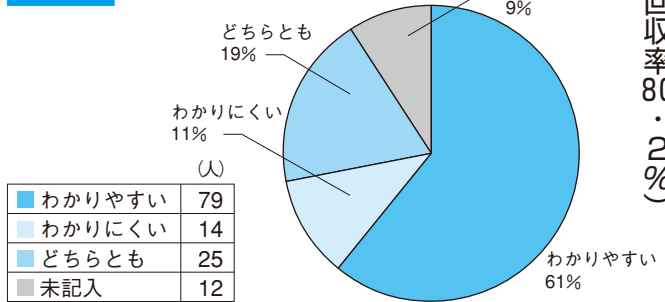
性別



評価



内容



多くのご参加をいただきありがとうございます

今回の意見交換会では、各議員とも市政について、市民のみなさんご指摘やご提言に認識を新たにする場面もあり、議会としてそれぞれの地域の課題を見つめ直す大変良い機会となりました。さらに、会の開始時間や説明内容・配布資料についてもご意見をいただきました。これらの意見を次回以降に反映できるよう努力してまいります。

塩尻市議会基本条例第十条に「議会は、市民に対する議会報告会を年一回以上開催し、議会の説明責任を果たすとともに意見交換を通じて市民の意見を議会の活動に反映するものとする」と定められています。いただいたご意見やご要望は、議会基本条例推進委員会を中心に検討し、行政側へ進捗状況の調査を実施します。その後、議会だよりやホームページ等を通じて報告し、議会として対応していきます。最後にお忙しいなか、大勢の市民のみなさんにご参加いただき、誠にありがとうございました。10月下旬には広丘、高出、洗馬、宗賀、北小野地区にて開催する予定です。

平成23年度 政務調査費の 支出内容

政務調査費とは？

地方自治法と条例に基づいて、議員の調査研究のために必要な経費の一部として、市長が議会の会派へ、所属議員1人あたり年額9万円を交付するものです。

平成23年度は、全ての会派が議員1人あたり82,500円（改選後の5月から翌3月までの月割り）の交付を受け、使途基準に基づき、適正に支出をしました。

各会派の支出内容（概要）

○明政会

森川・塩原・五味
西條・宮田

昨年11月北海道恵庭市で通学合宿を、江別市で江別の顔づくり事業を、小樽市で「お墨付き」の小樽ブランドを視察し、本市の同様な事業の参考としました。2月には、名古屋でセミナー「地方議員のための議員活動の基本」に新入議員2名が参加、3月には、泰阜村で日本初の高齢者による協同企業組合（共同住宅）

を視察しました。
他に書籍を購入しました。

○新政会

牧野・金田・金子
横沢

新政会は、鹿児島県指宿市の道の駅「いぶすき」「いぶすき山川港特産市場」などを調査しました。それぞれPF1方式と指定管理者制度を導入し、行政からの補助金等はなく、民間の力によって逆に利益の一部を納めていました。塩尻市内の道の駅のあり方の検証に調査結果を活かしていきます。ほか、甲州市のワイン産業文化施設や諏訪市の水耕栽培などを調査しました。

○市民派連合

丸山・永田・古畑

災害時への危機管理と次世代のエネルギー対応が震災後、更に求められており、千葉県柏市でのスマートシティ構築事業を研修し、池袋防災館では災害体験をした。また北九州市ではエコタウン事業と市民への環境教育について視察。他に、歴史的な建造物やボランティアを生かした事業として、墨田区の江戸東京博物館と北九州市では門司港レトロの視察を行った。

○公明党 中村・山口

8月26・27日京都市で開催された災害時の生活保護に関する研修会に参加。避難所からの申請や財政問題、就労支援の実際を研修し、日常の相談業務や議会質問に役立てました。10月18日に、松本市で開催された、地方議会改革セミナーに参加。議会基本条例の実践事例を学びました。会派専用USBメモリを購入。議会活動を広報するため、公明議会だよりを3回発行しました。

○市政同志会 中原巳・青木

地方議会特別セミナー、行政管理セミナーの研修会への参加。再生可能エネルギーについての先進地視察、空き校舎を利用しての児童館視察、南丹市家畜の糞尿を利用したバイオエコロジーセンター、大阪府浄水場水力発電、神戸市下水汚泥からメタンガスを製造路線バスの燃料に利用、飯田市メガソーラー発電、赤穂市・飯田市の小学校空き教室利用の児童館視察をしました。

○和の会 中原輝・青柳

和の会は、栃木県真岡市へ観光振興の取り組みについて行政視察、仙台市での日本自治創造学会主催の「大震災を越えてー地域の復興と自治の再生ー」研修会参加と被災地の視察、及び東京中央区での自治体サミット研修会「新時代の地方政府ー首長と議会、改革の最先端ー」「議会改革を支える議会事務局改革」などパネルディスカッション等への参加経費に充てました。

○日本共産党 柴田・鈴木

「第53回自治体学校」（会場は奈良市）を受講。地方自治に取り組む基本姿勢、「地域経済の再生、循環をどうつくるか」「財政分析実践」などを学び、関連の書籍を購入しました。また、県住民と自治研究所が行った「自然エネルギーの技術的課題と自治体



政策」を受講。自然エネルギー豊かな長野県での普及推進と地域活性化への相乗的取り組み等を学びました。

○創造実践 務台

和の会、前進と創造実践合同で視察研修を実施。第1回は10月25日から27日まで真岡市を訪問、市行政の施策や課題について実践の現況を拝聴しました。コミュニティをどのように有機的に造成し育成したか、生き生きとした市政づくりに成果を上げている実態を聴きました。研修2回目は2月2、3日の東京早稲田大学の研修、地域行政の活性化について学習しました。

○前進 永井

23年度の視察は、栃木県真岡市の「観光ネットワーク」を視察し、新たに観光を活性化の起爆剤にする構想や計画予定地を見学しました。

仙台市では、大震災からの復興ビジョンと共生のまちづくりと題して、南三陸町長等の報告や提言を聴講しました。自治体サミット研修会は、議会改革度ランキングにみる先進議会を学び、今後の議会改革に役立ててまいります。

6月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（35件）〈3月からの継続審査議案1件〉

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案3月3号	塩尻市監査委員条例の一部を改正する条例	15	6	継続審査	6号	平成23年度塩尻市一般会計補正予算(第6号)の専決処分報告について	-	-	承認
議案1号	塩尻市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	7号	平成23年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告について	-	-	承認
2号	塩尻市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	8号	平成23年度塩尻市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告について	-	-	承認
3号	塩尻市精神障害者授産施設条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	9号	平成23年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分報告について	-	-	承認
4号	塩尻市児童館条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	10号	平成23年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	-	-	承認
5号	教育委員会委員の任命について	21	0	同意	11号	平成23年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分報告について	-	-	承認
6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	21	0	同意	12号	平成23年度塩尻市国民健康保険樹川診療所事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分報告について	-	-	承認
7号	人権擁護委員の候補者の推薦について	21	0	同意	13号	平成23年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分報告について	-	-	承認
8号	中央本線みどり湖駅構内第1上西条こ線橋外3橋補修及び耐震補強工事委託に関する施行協定の締結について	21	0	原案可決	14号	平成23年度塩尻市線越明許費繰越計算書について	-	-	報告受理
9号	市道路線の認定について	21	0	原案可決	15号	平成24年度塩尻市一般会計補正予算(第1号)の専決処分報告について	-	-	承認
10号	平成24年度塩尻市一般会計補正予算(第2号)	21	0	原案可決	16号	平成23年度塩尻市水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	報告受理
11号	塩尻市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	17号	平成23年度塩尻市下水道事業会計予算繰越計算書について	-	-	報告受理
12号	広陵中学校大規模改修工事請負契約の締結について	21	0	原案可決	18号	債権の放棄について	-	-	報告受理
報告1号	塩尻市税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認	19号	平成24年度塩尻市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
2号	塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認	20号	平成24年度一般財団法人塩尻市文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
3号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理	21号	平成24年度財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
4号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理	22号	平成24年度一般財団法人塩尻市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
5号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理	23号	平成24年度一般社団法人塩尻市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理

議員提出議案（3件）

番号	件名	採決結果		採決結果
		賛成	反対	
議会1号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書	21	0	可決
議会2号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書	21	0	可決
議会3号	塩尻市議会議長永田公由君不信任決議	4	-	否決 (賛成少数のため)

請願・陳情処理状況（請願2件・陳情1件）

番号	件名	採決結果		採決結果
		賛成	反対	
請願3月1号	スケートボード練習場の設置を求める請願	-	-	継続審査
請願6月1号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願	21	0	採択
陳情6月1号	「住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書」提出に関する陳情	総務環境委員会		採択

6月定例会 賛否が分かれた議案の採決結果

議案	議員名													採決結果							
	宮田伸子	横沢英一	西條富雄	青木博文	務台昭	金子勝	山口恵子	牧野直樹	古畑秀夫	永井泰仁	森川雄三	青柳充茂	中原巳年男		鈴木明子	五味東條	中村努	丸山寿子	柴田博	塩原政治	中原輝明
議会第3号 塩尻市議会議長 永田公由君不信任決議	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	採決
議案3月第3号 塩尻市監査委員条例の一部を改正する条例 継続審査とする委員会 審査に対する採決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	採決

・議会第3号についての採決は、賛成議員の起立を求めているため、賛成を表明した議員を○標記しました。
 ※議会第3号については、議長は自身の一身に関する事件のため、地方自治法第117条の規定により「除斥」となり議事に参与することができません。議長不在のため副議長が議長代行し、採決は20名で行なわれました。

・起立採決により、継続審査に賛成は○、継続審査に反対は×
 ・議長に投票権はなく、21人の議員で採決が行われました。
 ※継続審査とは・・・
 原則として会期中に議決されなかった議案は次の会期では審査されないが、例外として、議決によって委員会に付託した案件は閉会中でも委員会で審議し、次の会期に持ち越すこと。

昨年3月の東日本・長野県北部地震から、1年3カ月が過ぎようとしています。今でも仮設住宅や避難生活をしている人達がたくさんいます。

栄村に思いを巡らせて

震災直後、いろいろなところで募金活動が行われていました。未曾有の大震災が起きたのですから、塩尻市も各戸に常会を通じて、募金の依頼があるものと思っていました。要請のないままになつてしまい、残念に思います。

栄村の皆さんは、5年後の村の姿を見据え、震災に見舞われる以前より住みよい村を目指してがんばっているとの事です。

私達も、被災された方達に思いを巡らせ、何か行動する事が大切だと思います。

栄村を訪れ、温泉に入り、絵手紙館を見学し、村の特産品をもとめる栄村応援ツアー等を企画し、栄村が元気になれるよう応援しましょう。



大門七区
中川 勝美さん

市民の声

一段と強くなってきた日差しの下、草退治に追われている毎日です。長年勤めたサラリーマンを2年前に辞め、素人同然の農業を勉強中です。

私の地元では

さて農業をやってみて、遊休農地の荒廃が、いかに多いか驚きました。そんな中、地元では近所の有志20人余りを募り農地活用と地域のつながりを目的に、2年前「農業体験クラブ」を立ち上げ活動しております。トウモロコシと加工トマトを中心に栽培し、種まき、保温マルチ敷き、苗植付、草取り、追肥等々、週末に合わせ空模様をにらみ、人数確保と段取りに担当者は、四苦八苦しております。しかし、優良農地利用と地域の和作りの為、参加者の表情は明るく元気にやっている事が何よりの事と思っています。



洗馬元町
花岡 幾三郎さん

市議会レポート

STREAM(ユーストリーム)による市議会本会議のインターネット生中継を開始しました!

平成24年6月定例会から、インターネットによる議会生中継を開始しました。STREAM(ユーストリーム)というインターネットサービスを利用して生中継を行っています。インターネット等があれば、世界中どこからでも塩尻市議会の本会議の様様を視聴することができます。

ユーストリームによる議会展中継の導入は全国的に見ても先導的で、長野県内では池田町(平成22年12月から)、松川村(23年12月から)に次いで導入となりました。

生中継は、塩尻市議会ホームページの「議会展中継」か、ユーストリームのサイト内「長野県塩尻市議会本会議中継」で視聴できます。

9月定例会の予定

9月 3日	開 会 日
10日 11日 12日	一般質問
13日 14日 18日 19日 20日 21日	委員会審査
25日	閉 会 日

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています!

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っていきます。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。



市議会ホームページ「議会展中継」のページ

ストリームのサイト内「長野県塩尻市議会本会議中継」で視聴できます。

本会議の開催予定及び日程は塩尻市議会ホームページや議会だよりに掲載しています。また定例会間近には放送予定を塩尻市議会ホームページのトップページに掲載しますので、視聴する際の参考にしていただき、是非ユーストリームによる本会議生中継をご覧ください。

議会あれこれ

◆ 監査委員のうち1人を常勤とすることができるようになることを改正したいという議案が3月に続いて本定例会でもなげか継続審査になってしまった。今後どのような人事案が出されるかとともに、9月定例会でどんな結論を出すか議会の対応も責任重大だ。

◆ 今議会の焦点であった常勤監査委員を置くことができる条例は、各党派とも反対であったようだが、また継続審査となった。議会は結論を先送りしたとの批判もあったが7月には代表監査委員の任期が終わる。非常勤の監査委員を選ばないのでは。

◆ 53年間の塩尻市議会の歴史の中で初めて議長不信任決議案が提出された。想像の域を出ない「事前工作」を理由に提出された不信任案であり、賛成少数により否決となった。不信任決議に値する理由だったのだろうか。

議会基本条例推進委員会 広報部会

- ◎古畑 秀夫 ○宮田 伸子
- 横沢 英一 中原巴年男
- 五味 東條 中村 努
- 柴田 博

◎ 部長 〇 副部長